



# 新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆様には、夢と希望に満ち溢れた新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町行政にご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は、2月に行われたソチオリンピック・パラリンピックでは、羽生選手の金メダルに日本中が歓喜し、12月には、青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎・天野・中村各氏がノーベル物理学賞を受賞するなど、明るいニュースが多い年となりました。一方、「日本創生会議」からの人口減対策が注目されたり、御嶽山噴火による多くの犠牲者の皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

また、わが国の経済情勢は、17年ぶりに消費税率の引き上げが行われ、国民生活に大きな変化をもたらしました。本町においても、税収の落ち込みにより、財政状況は大変厳しいものになります。

さて、本町の昨年の出来事を振り返りますと、1月に、町民会館(ゆめたるうプラザ)における、管理運営手法が高く評価され、総務大臣賞を受賞致しました。また、町制60周年の節目の年に、各種記念事業を展開させていただきました。7月の「衣浦みなとまつり花火大会」を皮切りに、「第5回武豊ふれあい山車まつり」には、町内外から多くの方々にご来場いただき、武豊の伝統的な文化・芸能を存分に味わっていただきました。各区を始めとする関係者の皆様におかれましては、大変お世話になり、心より

感謝申し上げます。

昨年、第5次総合計画の中間年を迎え、新たに「幸福度」の考え方を取り入れ、町民と職員がともに「しあわせ」について検討する「ゆめたるう会議」を開催しました。また、国・県による東海地震等の被害想定に基づき、「防災ガイドブック」・「防災マップ」を更新し、今年度内に各家庭へ配布致します。その他、おおあしエコステーションの開設、温水プール建設検討委員会の設置など、各方面でより良いまちづくりを推進できた一年であったと思っております。

本年もソフト・ハード両面において各種事業を予定しております。まず、1月31日～3月15日まで、「知多半島春の音楽祭」が関係者各位のご協賛をいただき、各所で行われますので、ぜひお楽しみください。また、中山保育園改築事業が、平成27年度末に完了予定であります。転車台周辺の地域交流施設も、平成28年4月のオープンに向けて着々と整備を進めており、多目的広場、まちの駅等の整備を致します。そして、住民満足度の向上、将来のまちづくりを見据え、役場内の組織体制の再編をし、新体制は4月1日から予定をしております。今後も様々な地域課題と向き合いながら、住民ニーズの把握に努め、各種施策を積極的に推進してまいります。

最後になりましたが、新年が皆様にとって、希望に満ちた輝かしい一年となりますことをご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新春



武豊町長  
叔山 芳輝

▼武豊港から日の出を望む

